

令和5年度 第1回 四街道市保健福祉審議会健康づくり部会会議録

日 時 令和5年8月18日（金） 午後1時30分から午後3時まで
場 所 四街道市保健センター3階機能訓練室
出 席 者 佐藤委員・秋山委員・渡辺委員・久保木委員・鈴木委員・利光委員・
島田委員・橋本委員
事務局出席者 山崎健康こども部長・川田健康こども部副参事・塩田健康増進課長・
高橋健康づくり係長・永易主査補・中里主任主事

傍 聴 人 1人

——会議次第——

- 1 開 会
- 2 健康こども部長あいさつ
- 3 部会長選出
- 4 部会長あいさつ
- 5 議 題
 - (1) 第2次健康よつかいどう21プランの現状について
 - (2) 第2次健康よつかいどう21プランの中間評価及び課題について
 - (3) その他
- 6 閉 会

会議の内容

1. 開会

【事務局（高橋健康づくり係長）】

ー開会あいさつ

2. 健康こども部長あいさつ

【山崎健康こども部長】

本部会は、昨年度から継続し進めております、第2次健康よつかいどう21プランの中間評価及び計画改定につきまして、専門的にご審議をいただくため設置いたしました。

本日は第2次健康よつかいどう21プランの現状についてと、同プランの中間評価及び課題についてご審議いただき、ご意見を頂戴したいと考えております。今回の中間評価と課題の整理を受け、次回以降、計画の見直し、素案作成へと議論を進めていく予定です。委員の皆様には、それ

それぞれの立場からご意見をいただけますようお願いいたします。

3. 部会長選出

－佐藤委員選出

4. 部会長あいさつ

【佐藤部会長】

こちらの分野は不慣れではありますが、精一杯会長職を務めさせていただきたいと思っておりますので、よろしくをお願いいたします。なお会議の進行には皆様のご協力が不可欠ですので、合わせてご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

〈代理部会長選出〉

－秋山委員選出

〈会議公開の確認〉

－異議なし

〈傍聴人規定の確認〉

－傍聴人 1 名

5. 議題

(1) 第2次健康よつかいどう 21 プランの現状について

【佐藤部会長】

それでは議題に入ります。議題1「第2次健康よつかいどう 21 プランの現状について」事務局より説明をお願いいたします。

【事務局（塩田健康増進課長）】

－資料1説明

【佐藤部会長】

只今の説明に対し、ご質問等ございましたらお願いいたします。

【橋本委員】

10 ページ、自殺の状況について質問です。

四街道市は、自殺者自体は減っていますが、70代の自殺者が突出しており、全国や千葉県だと50歳、60歳代の自殺者が多くなっているなか、四街道市はその年代が減っている分70代がたまたま多くなっているのでしょうか。それとも70代の方が何か絶望を感じ、自殺することを選んでしまうような原因があるのか、どのようにお考えでしょうか。事務局からコメントがあればお願いいたします。

【事務局（塩田健康増進課長）】

はっきりとした分析はできていないですが、母数が少ない為1件増えると率も大きく上がってしまうといったことが考えられます。ただ全体として、若者と高齢者が四街道の課題であることは以前から言われていることで、傾向としてその辺りに課題があるとは思っていますが原因の把握はできていません。

【橋本委員】

平成30年に策定された第2次健康よつかいどう21プランを見させていただきました。86ページに前計画策定以降に自殺された方の原因や動機、職業、その辺の分析を載せてあると思いますが、大切な1人1人の命なので、自殺となってしまった数自体は決して少ないわけではないと思います。その1つ1つの原因に四街道市だからこそ何かがあるのか疑問です。

他市では、自殺者の同居の有無というところで無より有の方が多かったという市がありました。1人で暮らしていて孤独だから自殺を選んだのではないということに対して、支援・対策を考えていかなければいけないと思うと、しっかり分析できる資料を載せていただいて、分析した上で対策をピンポイントで入れていくことが重要ではないかと思いました。

【佐藤部会長】

他にご意見ございませんか。

【島田委員】

3ページに出生・死亡の動向というのが出ていますが、子育て日本一を目指す四街道市として、0歳～18歳または20歳までの死亡率はどのくらいあるのか、原因は何なのか教えてください。生まれた子どもが健康に大人になれるような市政を目指してもらいたいと思ってお伺いしました。

【事務局（塩田健康増進課長）】

乳幼児の死亡率のデータは資料がなく恐縮ですが、特段、他市に比べて高いということはないです。周産期死亡という出産前後に亡くなってしまう乳児の率が、多少県や他市に比べると高い傾向があります。それについては、持って生まれた重症な病気などの影響があるのではないかと考えています。また、最近是不妊治療や、高齢出産でリスクの高い妊娠も増えてきているので、関係はあるかと思っています。その点以外は他とさほど遜色はないと思います。子どもの原因で一番大きいものは不慮の事故や、病気が多いのではないかと考えています。

【島田委員】

データから課題に挙げられることがあれば挙げていき、対策し、確実に数を減らしていくほうがいいのではないかと伺いました。

【佐藤部会長】

他にございますか。よろしければ、議題1「第2次健康よつかいどう 21 プランの現状について」以上で終了とさせていただきます。

続きまして議題2「第2次健康よつかいどう 21 プランの中間評価及び課題について」事務局より説明をお願いいたします。

(2) 第2次健康よつかいどう 21 プランの中間評価と課題について

【事務局（塩田健康増進課長）】

—資料2説明

【佐藤部会長】

只今の説明に対し、ご質問等ございましたらお願いいたします。

【久保木委員】

歯科口腔保健推進計画の中で、高齢化社会になり今後、認知症の方が増えた場合に、そういった方々の口腔管理をどのようにしていくのか疑問に思いました。認知症の方は、アンケート調査に回答することもできないので、どのようにピックアップしていけばいいのかと思いました。私たちは訪問診療も行っておりますので、活用していただいて高齢者施設の方や在宅で認知症の方などの口腔内の検診ができればより良いと思っています。入院患者や、施設内で介護を受けている方の口腔ケアは難しいところもあるので、歯科医師会を活用していただくといいかなと思います。お願いいたします。

【事務局（塩田健康増進課長）】

施設の方などについては、高齢者に向けた保健福祉計画で具体的に掘り下げていくかと思えます。健康よつかいどう 21 プランはその前の段階の、予防的に口腔が悪い状況にならないよう、市民をどう導いていくかといった性質の計画だと思っています。具体的な対策や案もあるとは思いますが、今回の計画についてはその前の段階として、若い時からかかりつけ医があることを定着させていきたいところです。

【佐藤部会長】

歯科医師会の方にもご協力いただけるということなので、具体的な案が挙げられればさらにかと思いますので、よろしくをお願いいたします。

他にご意見ございませんか。

【橋本委員】

再度自殺対策についてです。

相談しやすい環境づくりや適切な睡眠による休養、近所の人と挨拶を重点課題としていますが、果たしてそれで本当に自殺者が減るのだろうか疑問に思うところです。

第2次健康よつかいどう 21 プランの86ページ、自殺についての統計を見ますと、自殺未遂歴のない方が67人、自殺未遂歴のある方が33人おり、1度未遂を起こし止められずに再度という

方々が沢山います。この方々を支援していかなければいけないのではないかと思います。

市民意識調査 164 ページの自殺を減らすにはどのような対策の充実が必要だと思いますかという問いにたくさん意見が書かれている中で、下から 6 番目の自殺未遂者への支援のところに 14.8%の方が回答しています。165 ページの心の健康を保つために、四街道市はもっと何をすべきかという問いには、行政による対応強化という回答が 16 件あり、対応の改善、セーフティネットの整備調査の有効活用などが大事だと思います。

参考資料の中にも、自殺対策の自殺要因の地域性に関する調査分析が書かれていて、右端に統計分析で効果的な自殺対策を考えるとところまでは難しい、効果的な対処方法について参考にできるので継続する必要がある、など分析はしていくがどうやればいいのかわからないので継続していくといったようなことが書かれおり、もっと一步踏み込み、行政でネットワークを作り、まずは自殺未遂者を支援する対策を行っていくと具体的かだと思います。

例として茨城県の稲敷市が、いのちと心の相談支援事業をやっており、自殺未遂者を発見した場合に警察官、消防署、保健所、医療機関、社会福祉協議会、相談支援事業所などでネットワークを作り、自殺未遂者を放っておかない、必ず何かの支援に結びつけて、その人が自殺せず、健康的に生きていけるような仕組み作りを行っています。四街道市でも参考にしていきたいと思います。

【佐藤部会長】

他にご意見ございませんか。

【利光委員】

自殺者のご家族の方へのフォローは、市で何か行っていますか。

【事務局（塩田健康増進課長）】

市から直接、自殺者のご家族に連絡を取るとはしていませんが、窓口サービス課で死亡届を受けた際に自死だとわかった場合は、ピアカウンセリングやそういった会に繋がっていただければという思いで、自死遺族の会のリーフレットをお渡ししています。

【佐藤部会長】

他にご意見ございませんか。

【秋山委員】

3 ページ、ライフステージに応じた健康づくりのところ、外遊びを行う幼児小学生の割合が D 評価ということで、ちょうどこの計画が始まってからコロナがかなり影響したのではないかと思います。外に出たくても出づら状況は、運動や外遊びに影響があったのではないかと思います。今回評価した中で何かご意見等があったかどうかを教えてくださいたいと思います。よろしくお願いいたします。

【事務局（塩田健康増進課長）】

コロナの影響はあると思います。ステイホームの指示や、スポーツの集まりが解散してしまったり、そういったことの影響は大きいと思います。しかし、コロナの影響を反映してしまうと、分析が全てコロナになってしまうので、今後の取り組み自体には影響はないと考え分析には入れませんでした。

【佐藤部会長】

他にご意見ございませんか。

では、議題2「第2次健康よつかいどう21プランの中間評価及び課題について」は以上で終了させていただきます。

続いて議題3、その他について事務局からお願いいたします。

(3) その他

【事務局（塩田健康増進課長）】

次回の健康づくり部会の開催は令和5年10月19日(木)13時半～15時頃を予定しております。議題といたしましては、第2次健康よつかいどう21プラン改訂版（素案）についてを考えております。開催通知資料については後日お送りさせていただきます。

【佐藤部会長】

次回の会議日程の確認ですが、委員の皆さんご都合をつけていただけますよう、よろしく願いいたします。

それでは本日の議事は以上で終了させていただきます。

6. 閉会

【事務局（高橋健康づくり係長）】

ー閉会あいさつ

以上